



	<p>②その他</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議結果要旨</p>	<p>1. 開会</p> <p>事務局より開会の宣言があった。 以下の新たな委員について紹介があった。 ・木津警察署 福山委員</p> <p>2. 議事</p> <p>議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として岡野委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①「ちょこっとながも」について 事務局から口頭で報告があり、確認した。</p> <p>②令和8年度木津川市コミュニティバスのダイヤ改正について【資料1】 資料1に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>③きのつバス利用状況分析について【資料2】 資料2に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①令和8年度予算（案）について【資料3】 資料3に基づき、事務局から提案があり、原案の通り承認した。</p> <p>②木津川市地域公共交通計画に定める施策の状況について【資料4】 資料4に基づき、事務局から報告があり、原案の通り承認した。</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回協議会の日程について 後日通知することとした。</p> <p>②その他 事務局から報告があり、確認した。</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p> <p>◎議長 ○委員 →事務局</p>	<p>1. 開会</p> <p>会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①「ちょこっとながも」について 【配布資料】なし 【主な意見・質疑等】</p> <p>○7～8月にアンケート調査をする前に、協議会にて設問方針を報告する機会はあるか。 →アンケートの設問については、これから検討する。協議会への事前報告は必要に応じて検討していく。</p>

○アンケートは利用者数にこだわらなくていい。「ちょこつとながも」は外出支援が目的であるため、食環境の改善や社会活動参画への貢献となっているかフレイル予防につながっているか検証頂きたい。

→ご指摘の点を踏まえて実施する。

◎意見を参考にしてアンケートを作成頂きたい。

②令和8年度木津川市コミュニティバスのダイヤ改正について

【配布資料】資料1

【主な意見・質疑等】

◎利用状況を確認して、次年度以降のダイヤ改正に反映いただきたい。

③きのつバス利用状況分析について

【配布資料】資料2

【主な意見・質疑等】

○運転免許返納者が増えている。高齢者にとってバスは大事な移動手段であり、高齢者福祉の観点から、高齢者に対する運賃の値下げについて考えていただきたい。買い物できのつバスを使うが、荷物が多く2人で利用するため、往復で利用するには、800円必要となり、出費が多く負担になっているとの意見がある。

→コミュニティバス半額キャンペーンでは、全員を対象に割引を実施し、2～3割利用が増えた。また、利用分析業務では、日中は高齢者のバス利用が多いことが分かった。割引施策に関しては今後の検討事項である。木津川市高齢者運転免許証自主返納支援事業や、奈良交通ゴールドパスなどの既存制度の案内は引き続き行う。

○南加茂台ではコミュニティバスの利用が少なく、奈良交通加茂線を主に利用する。自治会では、運賃値下げの要望が多く、高齢者向けの割引制度を導入してほしいとの要望がある。市民の足を守るという観点から検討頂きたい。

→加茂線は、地域間幹線系統補助を受けながら路線を維持しており、自治会と意見交換をしている。加茂線は加茂駅までであれば200円程度であるが、奈良駅まで乗車した場合には運賃が高くなることは承知している。運賃値下げへの要望があることも知っているが、加茂線だけを補助するという事は難しいと考えている。

◎きのつバスICカードデータ分析を今後につなげていただきたい。利用者アンケートに関しては、その他の分析もできるのではないか。分析結果を共有頂きたい。今後どうするかを提案頂きたい。

→資料では抜粋して掲載しているが、データとしては膨大であり、詳細な分析を行っている。集計結果については、今後の検討に活かしたい。

## (2) 協議事項

①令和8年度予算（案）について

【配布資料】資料3-1、3-2、3-3

【主な意見・質疑等】

意見・質疑なし

②木津川市地域公共交通計画に定める施策の状況について

【配布資料】資料4

**【主な意見・質疑等】**

○バスの乗り方教室はあるが、電車の乗り方教室はないのか。

→今のところ、市として実施はしていない。

○電車の乗り方が分からないこどもが多いと感じる。遠足などで電車を使うことで電車に一人で乗れるようにしていけたらいいと思う。家庭でできればいいかもしれないが、利用促進を図るうえでも検討頂きたい。

→電車を使ってもらえるような取り組みは有効であると感じる。事業者とも相談していきたい。

◎わざわざ乗り方教室をやるのではなく、遠足などの機会にあわせて電車を利用するというやり方がよい。

○加茂地域のコミュニティバスの利用分析はしないのか。

→令和5年度の地域公共交通計画策定時は利用者アンケートを実施した。運行事業者からかもバスの利用者数の報告は受けている。デマンド路線の利用者が増える場合は、リピーターが増えた時、減る場合は高齢化や施設入所という理由があると聞いている。

◎令和10年度に向けて様々な施策に取り組んでいただきたい。計画策定後も、担い手不足や物価高騰の影響など大きな変化があると感じている。直近の状況について逐次情報共有頂きたい。ここに記載のないものを含めて、色々なリスクや検討課題を注視して進めて頂きたい。

→2月に実施された国の幹線補助の第三者委員会でも、施策の取組状況とその結果について、単年度で分析することに加え、経年で分析すべきとの指摘があった。今ご指摘いただいた点も踏まえて、協議会へ提示する内容について検討したい。

◎人材不足が厳しくなっている状況は、事業者から報告頂きたい。

○数字に基づいた議論をすることがよいので、利用状況は最低年1回報告すべきである。毎年利用者数を報告せずに、いきなり利用減少を理由に廃止されたとしても対策のしようがない。社会福祉協議会の協力により、乗車体験会が開催されたのは良い取り組みである。乗って良さに気づけば、運賃はそれほど気にならなくなる。木津川市は10年後に急速に高齢化が始まることが想定されるので、安易に高齢者の割引施策を導入すると、市の負担が急激に増加することが懸念される。

→ご指摘の点を踏まえて、引き続き利用促進につながる取組みをしていきたい。

◎計画への記載事項は確実に進めて頂きたい。

**(3) その他**

**① その他**

当日資料として配布した、①城山台地域における自動運転バスの取組結果について、②上粕駅スロープ等整備工事について の2点について事務局から報告があった。

**【主な意見・質疑等】**

○城山台地域の実証運行バスは乗り心地が良かったが、木津駅東口のロータリーに路上駐車している自家用車を避けるときに危険に感じた。木津駅東口のロータリー改修は実証運行に向けた整備なのか。

→手動介入件数は1.15回/便であった。城山台中央交差点と、木津駅東口のロータリーにて手動介入が多かった。実装に向けて、技術支援を受け準備していきたい。木津駅東口のロータリーについては、相楽中部消防組合消防本部方面へ抜ける道路を整

	<p>備する計画がある。</p> <p>○新しい道路の計画とは別に、木津駅東口ロータリー内の混在緩和のため、ロータリー付近に駐車スペースを整備する。</p> <p>○上狛駅では、奈良方面の一部の列車に乗車するためには跨線橋を渡る必要があるため、スロープ整備後も課題が完全に解決したわけではない。</p> <p>○自動運転は無償運行の予定か。 →無償運行と聞いている。</p> <p>○令和9年度中の実装は可能であると思う。自動運転を実装するには、路上駐車をなくさないといけない。自動運転バス運行は目的ではなく、自動運転バスにより地域をどう変えていくかのビジョンが必要である。自動運転バスにより朝夕の送迎を減らし、城山台住民の余裕時間が増えてライフスタイルを変えていくビジョンがあるといい。 →参考にさせていただく。</p> <p>②次回協議会の日程について 次回協議会は例年通り6月頃に開催することを予定している。詳細の日時については後日通知することとした。</p> <p><b>3. 閉 会</b></p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p><b>その他 特記事項</b></p>	<p>なし</p>